



## 概要

Cisco Unified CallManager は、コールを処理するためのソフトウェア ベースのコンポーネントであり、Cisco Unified Communications ファミリの製品です。さまざまなタイプの Cisco Media Convergence Server が、Cisco Unified CallManager のコール処理、サービス、およびアプリケーションに対して可用性の高いサーバ プラットフォームを提供します。

Cisco Unified CallManager システムは、企業のテレフォニー機能をパケットテレフォニー デバイスまで拡張して、たとえば、IP Phone、メディア処理デバイス、Voice-over-IP (VoIP) ゲートウェイ、マルチメディア アプリケーションなどを提供します。その他にも、統合メッセージング、マルチメディア会議、コラボレーション連絡センター、対話型マルチメディア応答システムなどで使用されるデータ、音声、ビデオの各サービスでは、オープン型の Cisco Unified CallManager テレフォニー API を利用してサービス間の情報を交換することが可能になります。

Cisco Unified CallManager は、Cisco 統合テレフォニー アプリケーションおよびサードパーティアプリケーションに対して、シグナリングとコール制御のサービスを提供します。Cisco Unified CallManager の主な機能は、次のとおりです。

- コール処理
- シグナリングとデバイス制御
- ダイヤルプランの管理
- 電話機能の管理
- ディレクトリ サービス
- Operations, administration, management, and provisioning (OAM&P; 操作、アドミニストレーション、管理、およびプロビジョニング)
- Cisco IP Communicator、Cisco Unified IP Interactive Voice Response (IP IVR) 、Cisco Unified CallManager Attendant Console などの外部音声処理アプリケーションに対するプログラミングインターフェイス

### 追加情報

[P.1-9 の「関連項目」](#) を参照してください。

## 主な機能と利点

Cisco Unified CallManager システムには、音声会議と WebAttendant 機能を利用するのに必要な一連の統合音声アプリケーションが組み込まれています。音声アプリケーションが組み込まれているため、音声処理用に特別なハードウェアは必要ありません。保留、任意転送、自動転送、会議、複数回線通話、自動ルート選択、スピードダイヤル、前回かけた番号のリダイヤルなどの補助的な拡張サービスが、IP Phone とゲートウェイに付加されます。Cisco Unified CallManager はソフトウェアアプリケーションなので、実稼働環境で機能を拡張するには、サーバプラットフォーム上でソフトウェアをアップグレードするだけで済み、高価なハードウェアのアップグレード費用が不要になります。

Cisco Unified CallManager は、すべての Cisco Unified IP Phone、ゲートウェイ、アプリケーションと IP ネットワーク全体に配備が可能のため、分散型のバーチャル テレフォニー ネットワークを構築することができます。このアーキテクチャにより、システムのアベイラビリティとスケーラビリティが向上します。コールアドミッション制御により、帯域幅に制約のある WAN リンク内の音声 QoS が保証され、WAN 帯域幅が十分でないときには別の公衆電話交換網 (PSTN) にコールが自動転送されます。

Cisco CallManager 設定データベースへのインターフェイスは通常の Web ブラウザを使用しているため、リモート デバイスとリモート システムの設定機能も提供しています。ユーザおよび管理者は、このインターフェイスを使用して HTML ベースのオンライン ヘルプにアクセスすることができます。

アプライアンスと同様に動作するように設計された Cisco Unified CallManager Release 5.0 は、次の機能を備えています。

- Cisco Unified CallManager サーバは、お客様やパートナーがサーバを配置しやすいように、ソフトウェアと共に事前にインストールされた状態で入手できます。このサーバはアップデートを自動的に検索し、システムに対する重要なセキュリティ修正やソフトウェア アップグレードが使用可能になると、管理者に自動的に通知することができます。このプロセスは、Electronic Software Upgrade Notification と呼ばれます。
- Cisco Unified CallManager サーバは、コールの処理を続けたままアップグレードすることができるため、アップグレードは最小限のダウンタイムで完了します。
- Cisco Unified CallManager は高解像度の電話ディスプレイ上で Unicode をサポートしているため、アジアおよび中東地域での使用をサポートしています。
- Cisco Unified CallManager は、Fault, Configuration, Accounting, Performance, and Security (FCAPS) を提供します。

### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco Unified CallManager の管理ページの参照

Cisco Unified CallManager の管理プログラムには、Cisco Unified CallManager がインストールされていない、Web サーバ以外の PC からアクセスします。Cisco Unified CallManager の管理ページのサーバ上には、ブラウザ ソフトウェアはありません。サーバの参照の詳細については、P.1-3 の「Web ブラウザ」を参照してください。

### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Web ブラウザ

Cisco Unified CallManager の管理ページは、次の Microsoft Windows オペレーティング システム ブラウザをサポートしています。

- Microsoft Internet Explorer (IE) 6.0 以降
- Netscape 7.1 以降

ネットワーク内の任意のユーザ PC から、Cisco Unified CallManager の管理ページを実行しているサーバを参照し、管理特権でログインします。



(注)

多数のユーザが同時に Cisco Unified CallManager の管理ページにログインすると、パフォーマンスが低下する場合があります。同時にログインするユーザおよび管理者の数は制限してください。

## Cisco Unified CallManager の管理ページへのログイン

Cisco Unified CallManager の管理ページにログインする手順は、次のとおりです。

### 手順

サーバを参照して Cisco Unified CallManager の管理ページにログインする手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** 適切なオペレーティング システム ブラウザを起動します。

**ステップ 2** Web ブラウザのアドレスバーに次の URL を入力します。大文字と小文字は区別してください。

`https://<Unified CM-server-name>:{8443}/ccmadmin/showHome.do`

ただし、<Unified CM-server-name> はサーバの名前または IP アドレスです。



(注) ポート番号を指定することもできます。

**ステップ 3** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。適切なボタンをクリックします。

**ステップ 4** [ログイン] ウィンドウで、Cisco Unified CallManager のインストール中に指定したアプリケーション ユーザ パスワードを入力し、[送信] をクリックします。

[Cisco Unified CallManager の管理] ウィンドウが表示されます (図 1-1 を参照)。



(注) セキュリティを維持するために、30 分が経過すると、ユーザは Cisco Unified CallManager の管理ページからログアウトされます。この場合は、もう一度ログインする必要があります。

#### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco Unified CallManager の管理ページからのログオフ

### 手順

Cisco Unified CallManager の管理ページからログオフする手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 [Cisco Unified CallManager の管理] のメイン ウィンドウで、右上にある [ログオフ] ボタンをクリックします (図 1-1 を参照)。
- ステップ 2 [ログイン] ウィンドウが表示されます。

### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Secure Sockets Layer 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS)

ブラウザクライアントと Web サーバ間 (Microsoft Windows ユーザの場合) の通信を保護する Secure Sockets Layer (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコルは、証明書およびインターネット上で転送されるデータを暗号化する公開鍵を使用します。また、HTTPS は、ユーザのログインパスワードが Web 経由で安全に転送されるようにします。Cisco Unified CallManager の管理ページ、Cisco Unified CallManager のサービスアビリティ ページ、Cisco Unified CallManager ユーザ オプション ページ、トレース収集ツール、リアルタイム監視ツール (RTMT)、および XML (AXL) アプリケーションプログラミング インターフェイスの各 Cisco Unified CallManager アプリケーションは、HTTPS をサポートしており、HTTPS によってサーバの ID を保証します。

自己署名証明書は、インストール時に Web サーバ上で生成されます (この証明書は、アップグレード時にも移行されます)。



(注) ホスト名を使用して Web アプリケーションにアクセスし、信頼できるフォルダ内の証明書をインストールしてから、ローカルホストまたは IP アドレスを使用してアプリケーションにアクセスしようとする、セキュリティ証明書の名前がサイトの名前と一致しないことを知らせる [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

ローカルホスト、IP アドレス、または URL 内のホスト名を使用して HTTPS をサポートしているアプリケーションにアクセスする場合は、URL タイプごとに (ローカルホスト、IP アドレスなどと共に) 信頼できるフォルダ内に証明書を保存する必要があります。URL のタイプごとに証明書を保存しない場合、各タイプに対して [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

## Ciscod Unified CallManager の管理ページでの Internet Explorer および HTTPS の使用方法

Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されないように、信頼できるフォルダ内に CA ルート証明書を保存する手順は、次のとおりです。ブラウザクライアントから Cisco Unified CallManager 5.0 をインストールまたはアップグレードした後に、システム管理者（またはユーザ）が最初に Cisco Unified CallManager の管理ページまたは他の Cisco Unified CallManager SSL が使用可能になっている仮想ディレクトリにアクセスするとき、サーバを信頼するかどうかをたずねる [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスが表示されたら、次の作業のいずれかを実行します。

- [はい] をクリックして、現在の Web セッションに対してのみ証明書を信頼する。現在のセッションに対してのみ証明書を信頼すると、[セキュリティの警告] ダイアログボックスは、信頼できるフォルダに証明書をインストールするまで、アプリケーションにアクセスするたびに表示されます。
- [証明書の表示] > [証明書のインストール] の順にクリックして証明書のインストールを実行し、その証明書を常に信頼することを指定する。信頼できるフォルダ内に証明書をインストールした場合、Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されることはありません。
- [いいえ] をクリックして、操作をキャンセルする。認証は行われず、Web アプリケーションにアクセスできません。Web アプリケーションにアクセスするには、[はい] をクリックするか、[証明書の表示] > [証明書のインストール] オプションで証明書をインストールする必要があります。

[セキュリティの警告] ダイアログボックスで実行できるその他の作業については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** Web サーバ上のアプリケーションを参照します。
  - ステップ 2** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されたら、[証明書の表示] をクリックします。
  - ステップ 3** [証明書] ペインで、[証明書のインストール] をクリックします。
  - ステップ 4** [次へ] をクリックします。
  - ステップ 5** [証明書をすべて次のストアに配置する] オプション ボタンをクリックし、[参照] をクリックします。
  - ステップ 6** [信頼されたルート証明機関] を参照します。
  - ステップ 7** [次へ] をクリックします。
  - ステップ 8** [完了] をクリックします。
  - ステップ 9** 証明書をインストールするために、[はい] をクリックします。  
  
インポートが正常に行われたことを知らせるメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
  - ステップ 10** ダイアログボックスの右下にある [OK] をクリックします。
  - ステップ 11** 証明書を信頼し、このダイアログボックスを再び表示しない場合は、[はい] をクリックします。



(注) ローカルホスト、IP アドレス、または URL 内のホスト名を使用して HTTPS をサポートしているアプリケーションにアクセスする場合は、URL タイプごとに（ローカルホスト、IP アドレスなどと共に）信頼できるフォルダ内に証明書を保存する必要があります。URL のタイプごとに証明書を保存しない場合、各タイプに対して [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco Unified CallManager の管理ページでの Netscape および HTTPS の使用方法

Netscape で HTTPS を使用する場合、証明書の資格情報を表示し、1 回のセッションに対して証明書を信頼する、期限が切れるまでその証明書を信頼する、または証明書を信頼しない、のいずれかを選択できます。



### ヒント

1 回のセッションに対してのみ証明書を信頼する場合は、HTTPS がサポートされているアプリケーションにアクセスするたびに次の手順を繰り返す必要があります。証明書を信頼しない場合は、アプリケーションにアクセスできません。

次の手順を実行して、信頼できるフォルダに証明書を保存します。

### 手順

**ステップ 1** Netscape を使用して、アプリケーション（たとえば、Cisco Unified CallManager の管理ページ）を参照します。

証明書に関するダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかのオプション ボタンをクリックします。

- [この証明書をこのセッションのために一時的に受け入れる]
- [この証明書を受け入れない/この Web サイトに接続しない]
- [この証明書を永続的に受け入れる]



(注) [この証明書を受け入れない/この Web サイトに接続しない] を選択した場合、アプリケーションは表示されません。



(注) 作業を続行する前に証明書の資格情報を表示する場合は、[証明書を調査] をクリックします。資格情報を確認し、[閉じる] をクリックします。

ステップ3 [OK] をクリックします。

[セキュリティに関する警告] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ4 [OK] をクリックします。

#### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションでの操作

ログインすると、Cisco Unified CallManager の管理ページのメイン ウィンドウが表示されます。このウィンドウの右上には、[ナビゲーション] と呼ばれるドロップダウンリストボックスがあります (図 1-1 を参照)。このドロップダウンリストボックスにあるアプリケーションにアクセスするには、必要なプログラムを選択し、[Go] をクリックします。ドロップダウンリストボックスに表示されるオプションは、次の Cisco Unified CallManager アプリケーションです。

- [Cisco Unified CallManager の管理] : Cisco Unified CallManager にアクセスすると、デフォルトを表示します。システム パラメータ、ルート プラン、デバイスなどを設定するには、Cisco Unified CallManager の管理ページを使用します。
- [Cisco Unified CallManager のサービスアビリティ] : Cisco Unified CallManager のサービスアビリティのメイン ウィンドウを表示します。このアプリケーションは、トレース ファイルとアラームを設定し、サービスをアクティブまたは非アクティブにするために使用します。
- [障害復旧システム] : Cisco 障害復旧システムを表示します。このアプリケーションは、Cisco Unified CallManager クラスタのすべてのサーバに対して、データの完全バックアップおよび復元機能を提供します。
- [プラットフォームの管理] : ログイン ウィンドウを表示して、Cisco Unified CallManager プラットフォームを設定および管理できるようにします。

図 1-1 Cisco Unified CallManager の管理ページの [ナビゲーション]



これらのアプリケーションは、セキュリティが強化されています。このため、これらのプログラムにアクセスするには、まずユーザ ID とパスワードを入力する必要があります。

#### 追加情報

P.1-9 の「関連項目」を参照してください。

## アクセシビリティ

Cisco Unified CallManager の管理ページおよび Cisco Unified CallManager ユーザ オプション ページは、マウスを使用しなくてもウィンドウ上のボタンにアクセスできる機能を備えています。ウィンドウ上のどの位置でも次の手順を実行できるため、さまざまなフィールドを移動するときに、スクロールしたり Tab キーを押したりする必要はありません。

### ウィンドウにあるアイコンへのアクセス

Cisco Unified CallManager と Cisco PCA の多くのウィンドウには、ウィンドウの一番上にアイコンがあります。たとえば、保存を実行するためのディスクのアイコン、追加を実行するためのプラス記号 (+) のアイコンなどです。これらのアイコンにアクセスする手順は、次のとおりです。

1. **Alt** キーを押し、**1** キーを押して、**Tab** キーを押します。左側の最初のアイコンが強調表示されます。次のアイコンに移動するには、もう一度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。アイコンが表している機能（追加など）が実行されます。

### ウィンドウにあるボタンへのアクセス

Cisco Unified CallManager と Cisco PCA の多くのウィンドウには、ウィンドウの一番下にボタンがあります。たとえば、保存のボタンや追加のボタンなどです。これらのボタンにアクセスする手順は、次のとおりです。

1. **Alt** キーを押し、**2** キーを押して、**Tab** キーを押します。左側の最初のボタンが強調表示されます。次のボタンに移動するには、もう一度 **Tab** キーを押します。
2. **Enter** キーを押します。ボタンが表している機能（保存など）が実行されます。

## 参考情報

- *Cisco Unified CallManager システム ガイド*
- *Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco Unified CallManager CDR Analysis and Reporting アドミニストレーション ガイド*
- *Cisco Unified Communications ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン*
- *Cisco Unified CallManager Release 5.0(4) インストレーション ガイド*
- *Cisco Unified CallManager Release 5.0(4) アップグレード手順*
- *Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド*
- *Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーション ガイド*
- *Disaster Recovery System アドミニストレーション ガイド*



## 関連項目

- [概要 \(P.1-1\)](#)
- [主な機能と利点 \(P.1-2\)](#)
- [Cisco Unified CallManager の管理ページの参照 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco Unified CallManager の管理ページでの Internet Explorer および HTTPS の使用方法 \(P.1-5\)](#)
- [Secure Sockets Layer 上のハイパーテキスト転送プロトコル \(HTTPS\) \(P.1-4\)](#)
- [Cisco Unified CallManager の管理アプリケーションでの操作 \(P.1-7\)](#)
- [アクセシビリティ \(P.1-8\)](#)
- [参考情報 \(P.1-8\)](#)

